

## Mis días en México

1年間のメキシコ生活はあっという間に過ぎ、先日、無事に帰国しました。今回のレポートでは、7月の出来事と、この1年間のメキシコでの生活を振り返りたいと思います。

### 1. オアハカ旅行

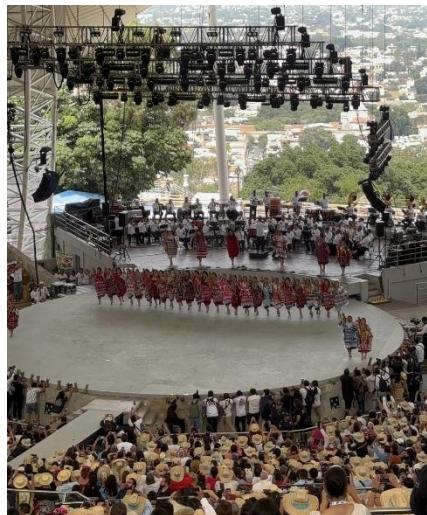
7月下旬に念願だったオアハカ州を訪れました。オアハカは「グルメの街」としても知られており、おいしいものがたくさんあります。特に有名なのは、チョコレートを使った料理のモレや、独特の風味を持つオアハカチーズ、そしてチョコラテです。その中でも、特に私が感動したのはチョコラテでした。チョコラテはメキシコに深く根付いた伝統的な飲み物で、力力才発祥地であるメキシコでは日常に欠かせない存在です。街中の市場や家庭で親しまれているだけでなく、スターバックスでもメキシコ独自のチョコラテを味わうことができ、国全体で愛されている飲み物の1つです。メキシコでの生活の中でチョコラテを飲む機会は何度もありましたが、本場オアハカ州にしかない「Mayordomo」というお店のチョコラテは格別でした。一度飲んで以来ハマリ、滞在中に何度も足を運んで味わいました。また、オアハカ滞在中にはさまざまな観光地も訪れました。Puerto Escondido(海)や、古代遺跡群のモンテアルバンなど、オアハカ州ならではの見どころを巡ることができ、歴史や文化を肌で感じる貴重な体験になりました。

そして、この旅の一番の目的は、1年に1度行われる伝統的なお祭り「ゲラゲツツア」を見学することでした。ゲラゲツツアはオアハカ州の先住民族の文化を祝う祭典で、州内の地域を代表する団体が参加し、それぞれの民族舞踊や音楽を披露します。

メイン会場は約11,000人を収容できる大きな野外劇場で、有料席は数か月前に発売されるとすぐに完売してしまいます。そのため、私たちは先着順の無料席を確保するために朝早くから並び、無事に観覧することができました。

私たちは午前の部を観覧しました。午前の部は 10 時に始まり、約 4 時間にわたって行われます。ステージでは、17 の団体の踊り手たちが、それぞれの地域の色鮮やかな衣装をまとい、音楽に合わせて力強く、時に優雅に踊りを披露しました。特に印象的だったのは「パイナップルダンス」で、踊り手たちは頭の上にパイナップルを載せ、バランスを保ちながら軽快にステップを踏みます。その一体感に会場はとても盛り上がっていました。

観客も一緒に手拍子を打ったり、帽子を振ったりして盛り上がり、まるで会場全体が一つの大いな共同体のように感じられました。ほかにも、街中では、朝から夜まで様々なところでパレードなどのイベントが行われており、祭りの熱気を感じることができました。



## 2. 1年間のメキシコ生活を通して

この 1 年間は、本当に充実した毎日でした。最初は、日本とは全く違う生活に戸惑い、大変なことも多くありました。しかし振り返ってみると、それ以上に楽しいことや学びがたくさんあり、毎日が新しい発見の連続でした。この経験を通して、私自身も人として大きく成長できたと実感しています。本当に、この研修に応募してよかったですと心から思っています。

本研修を通して、メキシコの良さをたくさん知り、メキシコが大好きになりました。街では、目が合うとほとんどの人が笑いかけてくれます。バスや地下鉄では、お年寄りに席を譲ったり、分からぬことを尋ねると優しく教えてくれます。私のような外国人でも、他のメキシコ人と同

じように話しかけてくれます。初めて会った人でも仲良くなると、すぐに「Mi casa es tu casa(私の家はあなたの家)」と言って、いつでも家に来てねと歓迎してくれます。こうした温かさに触れるたびに、メキシコの人々の親しみやすさや心の広さを感じました。

また、年齢や性別に関係なく、自分の好きな服や髪型、メイクを楽しんでいる人が多いことも印象的でした。みんな自分らしさを大切にし、自由でのびのびした雰囲気を感じることができました。そして、私自身も「ありのままでいい」と思えるようになり、肩の力を抜いて自分らしく過ごすことができました。



おわりに

最後に、この研修で関わってくださったすべての方々に感謝申し上げます。皆様のご支援と温かい対応のおかげで、安心して充実した研修生活を送ることができました。本研修で得た経験と学びを今後に活かし、広島県とグアナファト州、そして日墨の架け橋となれるよう努めてまいります。